

# Voice

ヴォイス  
第15号

大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞  
第15号/発行2019年3月20日

Voice制作協力者



情報コミュニケーション学科  
1年 重松佳伽

自分たちで  
考え、企画する。  
学んで、得る。

\\ 特集 \\

清正公鶴崎23夜祭 

大分活性化ネットワーク

『10月事業—OITA HALLOWEEN—』 

本学では、サービラーニングを全学科で単位化し、実施しています。サービラーニングでは地域活動を行うだけでなく、『活動の意味を学ぶ』『活動を企画・実施する』『活動を発信し伝える』ことを重視しています。サービラーニングは単なる『ボランティア』ではなく、大学教育として認められた活動です。

# 清正公 鶴崎23夜祭

～1から学ぶ企画と運営～



## 鶴崎23夜祭が開催されるまで

### 1 3ヶ月に渡る企画立案・運営会議！



### ? 鶴崎23夜祭とは？

肥後藩熊本班の飛び地として栄えた大分県の鶴崎地区は関ヶ原の戦いの後、加藤清正公によって物資輸送や参勤交代の出発地として開発されました。清正公を偲び、命日である7月23日に毎年、国道197号線を歩行者天国とした『鶴崎清正公二十三夜祭』がおこなわれています。

国道一番班では、スタッフ班、ワークショップ班、インスタパネル班と活動ごとに分かれ、それぞれ制作や準備などに取り掛かりました。また、イベントで使う横断幕も芸短の学生が手作りで作成しました。

### 2 国道一番予選会

国道一番スタッフ班は、6月30日(土)に行われた、『国道1BAN予選会』にボランティアスタッフとして参加しました。撮影班、受付班に分かれ、予選会を支えました。本番同様に動き、参加者はゴールテープや選手の案内など大会がスムーズに進むようにそれぞれ準備を重ねました。



国道一番とは、清正公が歩んだ生涯の道のりを距離(49m72.3cm)に見立てて駆け抜け、その中で最も速い人を決めるイベントです(実際は50mを走ります)。予選を勝ち抜いた人だけが祭り当日の大会に参加ができます。

予選会 6月30日(土)

準決勝 7月23日(月)

予選会タイム15名が本選出場  
推薦メンバー10名が本選出場

本選決勝 (5名)

キングレース (5名)

(歴代王者と新王者とのレース)

### 3 本番前の入念なリハーサル

本番直前の週末、コース係はコースのラインとなるロープを絡まることのないように素早くひく練習を行いました。それぞれ役割に分かれ、本番に自分のやるべきことについてしっかりと覚えました。



### 4 当日の役割り

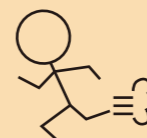
ワークショップや祭りの宣伝、運営の手伝い、コース作りなど、自分たちで出来ることを精一杯、頑張りました。またインスタパネルや清正公のパネルを用いて、来場した方にSNSに投稿していただく活動も展開しました。



ワークショップでは、自分たちで考えた手作りの帽子のキーホルダーと、スライム作りを行いました。ペットボトルのキャップと紙ひもでも簡単にできるので、子どもだけではなく、大人の方々にも人気がありました。見た目も可愛くて、たくさんの方々にご来場を頂きました。またスライム作りのブースにも、数多くの方々には足を運んで頂きました。自分で作ったスライムの感触は、夏の夜にぴったりだったようです。



### 活躍した学生の声



情報コミュニケーション学科  
1年 牧野ひな莉

清正公鶴崎23夜祭という、鶴崎地区の伝統的なお祭りに参加し、イベント運営の大変さ、そして何より人との繋がりのおかげで、身を持って感じました。グループに分かれてそれぞれが役割を持つことで、主体性を持ち活動に参加することができました。これは社会に出ていく私たちにとって、これから必要となる知識やスキルなのではないかと強く感じました。

活動を通し、学び得たことをしっかりと自分の糧にしていきたいです。

祭りの最後はしっかりと清掃活動を行いました。祭りは楽しいけど、ゴミが散らかっているのが残念だという地元住民の方々の声もありましたので、みんなで小さなゴミから大きなゴミまで拾いました。



# 10月事業 —OITA HALLOWEEN—



今回は、『ハロウィン夜市仮装しナイト!』に注目しました。芸短の学生だけではなく、大分青年会議所の方々や、大分県の学生と一緒に、一から計画をたてて作り上げました。

大分活性化ネットワークは、大分市内の大学生や高等技術専門学校の学生が、大分青年会議所の各事業に参加し、大分の活性化を行う会のことです。芸短の学生も積極的に参加しました。

## ○主な活動○

- ・月ごとの例会
- ・8月七夕ブロードウェイ
- ・9月BBQ懇親会
- ・10月(ハロウィン夜市を仮装しナイト!)
- ・11月わくわくわーくランド



## 企画立案からイベント開催までの流れ

通常、10月に行う事業は学生達が中心となって行うため、最初のほうの例会は、何をするかを決めるアンケートを行い、そこから絞っていくことから開始

4・5月の例会で活性化ネットワークに入っている学生にアンケートをとり、10月に行う事業を決める。



例会は毎月行っており、次回の例会の日には、リーダーが提案し、出欠をとる



グループに分かれ、それぞれのグループでどのような出し物をするか会議を行う。

活性化ネットワークに所属する際、AからGのグループに分かれる。各グループで活動することが多いため、仲も深まる。

イベント当日に向けて、必要な道具や衣装、どのような流れで行うのか、など具体的に決めて行く。

各グループのリーダーを中心にそれぞれ役割を決める。



本番当日!!

## イベント当日の様子

当日はファッションショーやスタンプラリーなど商店街を賑わせるたくさんの催し物を行い、多くの人達が仮装をして参加しました。各グループごとに、それぞれの役割りを決めて責任を持って行動しました。

### 『リアル・ウォーリーを探せ!』

当日は活性化ネットワークのメンバーでウォーリーに仮装し、街のどこかに隠れて、参加者に見つけてもらうゲームを開催しました。見行けてくれた参加者には景品を渡しました。



各グループで考えた出し物は、多くの人が楽しんでくれました。



### 『ファッションショー』

ファッションショーはポスターやSNSなどで参加者を募集し、出場者が集いました。3回に分けて実施し、10組が出場しました。出場者には、屋台の中央を歩いてもらい、衣装を審査員にアピールしました。



参加者はユニークな衣装やこった衣装を着て、笑顔でステージを歩いていました。インタビューにも答えていただきました!



### 当日のブース

- ※巨大パネルブース
- ※貸し衣装ブース
- ※飲食ブース
- ※クッキーデコレーション
- ※フェイスシールブース
- ※ゲームブース
- ※紙コップランタン作り
- ※ウォーリー探し・スタンプラリー

活性化ネットワークのメンバーや、ボランティアで参加した学生も仮装をして盛り上げました!!



## 大分活性化ネットワークに所属する学生の声

情報コミュニケーション学科

1年 廣田 七海

大分活性化ネットワークとは大分青年会議所が主催する学生団体のこと。地域活性化を目標に、数々のイベントを開催している。大分大学、日本文理大学、APUの学生と共に活動。主な活動は、毎日行われる会議・七夕ブロードウェイ・10月事業・わくわくわーくランド等。私たちは、一大イベントの10月事業に向けて、一から企画を練った。活動を通して、他校の学生や、会議所の社会人の方々と多くの交流ができた。企画を考える大変さや、イベントの最中に臨機応変に対応する難しさを感じた。けれど、イベントに参加してくれた楽しそうな姿を見ることができて、大変充実した半年間を過ごせたと思う。

忙しいけれど、その分多くの経験を積むことができる。コミュニケーションを高めたい人、地域の活性化に貢献したい人は、ぜひ参加してほしいと思う。

## 大分活性化ネットワークの良いところ

大分活性化ネットワークは芸短の学生だけではなく、大分市内の学生を対象にしており、外部の学生とも交流があるので、いつもとは違った人達とかかわることができます。また、学生だけでなく、青年会議所の方々と一緒に会議を行うため、社会人との関わり方も経験することができ、社会にできるための一歩を踏み出すことができます。



# その他に2018に行われたサービラーニグの一部をご紹介します!

## 学んだことを地域で活かす、地域で活動することで学びの意味を考える。

サービラーニグは毎年50前後のプログラムが行われています。特に積極的に活動した学生達の感想をご紹介します。



活動月 5月

商店街の活性化と環境について考える

### 府内学生エコフェスタ

府内5番街商店街で行うイベント。学生が企画・準備・運営の全てを行いました。2018年度はラジオにてイベントの宣伝を行い、1000個の植物油と牛乳パックで作成したキャンドルを並べ、節電を呼びかけるとともに、「世界一小さな花火大会」やステージ企画などを行い、まちなかの活性化を目指しました。



ステージ企画にて、府内5番街、サークルによる音楽・ダンス・ビッグ大会を行いました。  
チラシ配布や、OBSとライブ配信、FM大分のラジオに出演し、イベントの広報活動を行いました。

当日はペットボトルのキャップで作成する帽子づくり、バスボム(入浴剤)作成、紙袋で作るティッシュボックス入れのワークショップを行いました。また、環境クイズラリーを企画し、エコに関するクイズを解いてもらい、商店街を訪れた子ども達に遊んでもらいました。

お子様や親御様に日ごろの環境に対する関心を高めるきっかけになっていただけるよう、新聞や雑誌の引き換えで行えるヨーヨー釣りやスーパーボール作りも実施しました。

竹田市の豊かな農作物を味わい、学ぶ

### 竹田食育ツーリズム研修

竹田食育ツーリズムでは、農家に宿泊し体験を情報発信する農家民泊、とうきびの収穫体験や、「とうきびフェスタ」のボランティア活動、2日間に渡る活動を通じて、食を使ったまちおこしの現状や食文化を学びます。

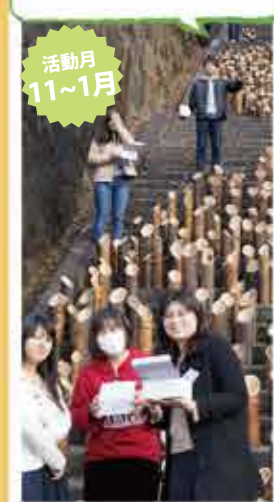


竹田市の食文化を学ぶ! 農家民泊

竹田市農家民泊「きちよくれたけた」さんのご協力のもと、学生は宿泊先農家に分かれ、羽釜を使ったカレー作り、石窯でのピザ作り、うどん打ち、竹を使ったマイ箸や箸置き作りなど、様々な体験をさせていただきました。

その他にはこんな活動が!

活動月 11~1月



### SNSやWebサイトを利用した情報発信!

本学では、平成21年度から竹田市の魅力を多くの方々に向けて頂き、市の活性化に繋げる事を目的に、ブログやWebサイト「たけたみつた」やTwitterやFacebookなどSNSのハッシュタグ(#たけたみつた、#taketam)を使い、積極的に情報発信の活動を行っています。

### 竹を使用したまちおこし「竹楽」「竹タタル」のボランティア活動!

2018年度は、平成12年より行われている、竹灯籠による城下町のライトアップイベント「竹楽」、平成23年に本学の美術科の学生と竹田の町の方と共に創作した、竹を使用したイルミネーション「竹はたる」のボランティア活動を行いました。

竹灯籠やイルミネーションの設置や見守り作業のお手伝い、情報発信を行い、竹田市を盛り上げました。



特に中心となって活動した先輩!

### 活躍した学生の声

情報コミュニケーション学科 2年 池田 皓樹



府内学生エコフェスタという活動の意味は、商店街への集客の促しと、エコについて考えるためのものです。また企画から現場交渉や運営まですべてを学生が主体で行うため構想力、企画力、行動力を養うことができます。さらに、一年生が入学してきてから最初に行われる活動で、ここで学生としての主体性などが身につくほどの活動にも活かしていくことができます。しかし、大人数での意思統一などがうまくいかず一つの企画を進めることは難しかったですが、達成感がありました。企画運営や広報宣伝などの5つのグループに分かれ会議をして、準備をします。近隣の幼稚園と放送局にも協力頂きました。商店街を占有するために必要な資料などの提出のために警察と市役所で手続きを行いました。

来年このエコフェスタに参加しようと考えている学生は余裕をもって準備を行ってほしいです。また、一つのことが及ぼす影響を見定めて行動してほしいです。

### 活躍した学生の声

情報コミュニケーション学科 2年 阪口 晶哉



2018年度の竹田食育ツーリズムは7月14日、15日に行われました。竹田市では、近年、少子高齢化が進み、急速な勢いで過疎化が進んでいます。竹田食育ツーリズムでは、竹田市の食と生活、文化と産業に関する情報をSNSなどを利用して全国に発信する活動も行ってきました。このような活動もあり、テレビにも取り上げられるなど、いまでは全国的に有名になりつつあります。

竹田食育ツーリズムでは、1日目に農家民泊体験、2日目にとうきびの収穫及びとうきびフェスタへの支援を行いました。農家民泊とは一般の農家に宿泊し、農村ならではの文化体験・伝統的行動を行うことにより、日ごろ感じることのできない自然を体験したり、考え方を学ぶためのものです。また、とうきびの収穫は早朝に行い、そのままとうきびフェスタ会場での活動へと移ります。

今回の活動を通じて、少子高齢化の進んでいる竹田市の状況を実際に見ることで理解ができたほか、芸短生が長年協力しているとうきびフェスタが、地域の一大事業として全国から人を集めていることがわかりました。

### 活躍した学生の声

情報コミュニケーション学科 1年 渡邊 かりん、岡寺 楓



竹田では高齢化や人口減少により竹を管理する人や、竹の需要が減少しています。そこで、里山保全などを目的としたイベントの過程で、平成12年に竹灯籠を設置し好評を得たことで、翌年には名称を「たけた竹灯籠 竹楽」として開催され毎年二万本をベースに現在へと続いています。

私たちは、竹灯籠の設置作業を手伝い、それからTwitterなどで情報発信をしました。実際に作業をして、地域の方や観光客の人と一緒に、作業している姿が印象的でした。

平成23年に、芸短の学生と町の人の協力により誕生したのが竹はたるです。季節ごとのイベントに使用されています。竹を使うことは、環境によく、地域にちなむものでもあります。今回、私達は設置作業をしました。活動のなかでSNSで情報発信をしたが、いろんな人に情報が届いたのかと問われれば届いていないと思いました。来年度は情報発信の仕方を工夫しながら活動したいと思います。

若者集客アップを目指して活動!

### 大分トリニータ 若者集客大作戦

大分トリニータ若者集客大作戦は、若者集客と、継続して試合観戦をしてもらうことを活動の2大目標とし、様々な企画を実施しています。2018年度は、新たにスタジアムグルメに興味を持ってもらう目的を追加し、活動を行いました。



昨年度に行ったフェイスシール販売は、シールのデザインを一新し、2018年度も販売しました。

街中に大きなプレゼントを!

### 巨大モザイクアートプロジェクト

本学では平成26年より始まった、12月25日まで大分の街中に巨大モザイクアートを展示することで、クリスマスプレゼントに見立て、市民の皆さまに心ばかりの気持ち「メリークリスマス」を贈るという取り組みを行っております。この取り組みは、全国的な課題になっている中心市街地の衰退問題を住民・行政・大学・企業が一体となって解決を目指すことを目的に行われています。この活動の中心的役割を学生が担います。



小さな子どもも楽しめるお祭りに!

### 赤い羽根ボールペン 応援プロジェクト

「赤い羽根ボールペン募金」は、共同募金会が新たな募金手法として行う「寄付金付き商品」の取り組みです。美術科の学生によってデザインされたボールペンを、PRや販促活動を行い、募金額アップを計ろうと結成されたのがこのプロジェクトです。学生たちは率先して様々なイベントに出かけ、募金活動を行いました。

### 活躍した学生の声

情報コミュニケーション学科 1年 笛木 美玲奈



赤い羽根ボールペン応援プロジェクトとは、共同募金活動の一環として芸文短大が行っている活動です。200円以上の募金をしていただいた方に、美術科デザイン専攻の学生がデザインしたボールペンを1本贈呈しました。募金活動をするにあたり、赤い羽根共同募金について分かりやすくまとめたボードや巨大ボールペンの作成を行い、明るく大きな声で呼びかけをし、できるだけ多くの人に募金をしてもらえるように努力しました。今年度から街頭募金だけでなく、募金箱設置も行い、募金箱は牛乳パックで作成し、公共施設などに設置させて頂きました。その結果、400本のボールペン全てお渡しすることが出来ました。しかし、募金に対する若者の意識が低いため、もっとSNSを利用して情報発信し若者にも知ってもらうことや、積極的に行動し、たくさんの場所に募金箱を設置する必要があると感じました。今年度出来なかったことを来年度出来るように、さらに努力して参りたいと思います。



活動月 6、7月  
食べて応援! スタジアムグルメ、フォトコンテスト!

会場で購入したスタジアムグルメを会場内で撮影し、ハッシュタグ「#大分トリニータ」#食べて応援J1へGOAL!をつけてSNSに投稿すると、抽選で12名の方に豪華商品が当たる企画を行いました。

またスタジアムグルメの販売促進につなげられるよう、大分トリニータの選手が出演しているスペシャル動画をQRコード化してシールに印刷し、商品に貼り付けて販売を行いました。



活動月 4~12月  
第33回国民文化祭・大分2018. 第18回全国障がい者芸術・文化祭おおいだ大会 おもてなし事業「回遊劇場」

2018年度は、第33回国民文化祭・大分2018、第18回全国障がい者芸術・文化祭おおいだ大会のおもてなし事業「回遊劇場」の一環として、本学生のほか、大分市内の11の小学校、地区の皆様、行政、企業市民活動団体の皆様が制作に関わり、過去最大数となる6作品を完成させ、街中に展示しました。

作品には、1センチ四方の色紙が94万5千枚使われており、製作期間は5ヶ月に及びました。



活動月 9~12月

### 活躍した学生の声

洲ゼミ 2年生一同

前年度の活動を引き継ぎ、今年度も大分トリニータと連携して活動を行った。前年度と比べ学生の参加者が多いこともあり、ドームの北口と西口の2つのブースで行った。今年度は継続した活動を1つ、新企画を3つ行った。フェイスシールは活動を受け継ぎ、活動のマンネリ化を防ぐため3日間違うデザインのもの販売した。インタビュー調査はスタジアムグルメに対する意識調査を行った。フォトコンテストはSNSを活用し、サポーターのスタジアムグルメの関心度を高めた。スペシャルムービーは選手の動画をQRコード化し、商品に貼り、スタジアムグルメの販売促進に努めた。

今年度は、前年度の活動を継続するとともに、スタジアムグルメに興味を持ってもらう目的で活動を行った。その結果、すべての企画が成功し、より多くの方に自分たちの企画を知ってもらうことが出来た。来年も活動を引き継ぎ、J1で戦う大分トリニータをさらに盛り上げてほしい。

### 活躍した学生の声

情報コミュニケーション学科 1年 本田 里奈



モザイクアートプロジェクトの目的は、大分県内外から大分のまちなかに集まり、大分市を活性化させるきっかけをつくることです。特に今年は「第33回国民文化祭・おおいだ」開催、2019年・ラグビーワールドカップ開催に合わせて過去最大の6作品の展示を行い、大分市をPRする作品を仕上げました。これらの6作品には94万5千枚もの1cm四方の色紙が使われています。作品制作には芸短生のみならず、大分市内の11の小学校の児童、行政、企業を始めとする約3,700人の地域の方々の協力がありました。モザイクアートプロジェクトの活動を振り返ると、製作期間は大変で終わりの見えない作業に投げ出したくなることもありました。しかし、人の力の大きさや大分の魅力を感じるとともに地域や人と関わることの楽しさを知ったことは大きな習得だと思っています。ご協力本当にありがとうございました。



### 挑戦! Voiceの記事作成!



### 「Voice15号」学生も制作協力しました!

今回のVoice15号、特集の清正公鶴崎23夜祭、大分活性化ネットワークでは、学生が制作を行いました。毎日作業を行い、記事をまとめ、デザインや素材作成を行いました。

### ~Voice制作の感想~

情報コミュニケーション学科 1年 重松 佳伽



今回、Voice制作に携わらせていただき、一つの雑誌作りでも、どれくらいの労力がかかるのかがわかりました。私にとって、全てが初めての経験でした。一から素材を作り、テーマを決め、文章を考え、配置する。これらの作業が、とても手間のかかる作業でした。自分が分かるものではなく、初めて読む人に伝わるようなものにするという部分が、とても難しかったです。今回の経験で学んだことを忘れず、さらに勉強して成長できたらと思います。最後に、Voice制作にあたってたくさんのアドバイスをいただいた後藤さんに感謝します。本当にありがとうございました。

# 2018年度サービスラーニング一覧



**4月**  
あしなが学生募金活動  
大分県学生献血推進協議会(学生献血推進ボランティア)  
赤十字ボランティア交流会  
花植ボランティア活動  
府内学生エコフェスタ(会議)

**5月**  
あしなが学生募金活動  
おおいた活性化ネットワーク会議(毎月)  
府内学生エコフェスタ  
花植ボランティア活動

**6月**  
AQUASOCIALFES 冷水をホタルの舞う観光名所に育てよう  
おおいた子ども劇場2018年子どもキャンプ事前指導員講座  
ふくしまっ子応援プロジェクト募金活動(大分銀行ドーム)  
大分トリニータ若者集客大作戦  
国道一番予選会  
おんせん県議会(大分県議会)若者DAY  
AQUA SOCIAL FES!! 第二回磯崎海岸をアカウミガメの古里にしよう!

**7月**  
ふくしまっ子応援プロジェクト募金活動(トキワ本店前)  
大分県学生献血推進協議会(大分県学生献血サポーター)  
西日本豪雨の災害支援募金活動  
竹田食育ツーリズム(農家民泊)  
とうきび(とうもろこし)早朝収穫体験、とうきびフェスタ  
ふくしまっ子応援プロジェクト見守りボランティア活動(田ノ浦ビーチ)  
ふくしまっ子応援プロジェクト見守りボランティア活動(うみたまご)

第18回大分コガネグモ相撲選手権! ボランティア  
大分トリニータ若者集客大作戦  
清正公二十三夜祭歩行者天国  
学生対象防災ボランティアセミナー

**8月**  
「天下勇舞」～府内から新たな時代の幕開け! 平成ラストの戦紙～府内戦紙ボランティア  
セタフロードウェイ  
NPO法人おおいた子ども劇場 子どもキャンプ  
コープおおいたふくしま訪問(親子)視察・交流会ボランティア

**9月**  
第2回おおいたNPO博  
赤い羽根ボールペン応援プロジェクト

**10月**  
ハロウィン夜市で仮装しナイト!  
みんなの消費生活展「未来へ伝えよう安全・安心な暮らし」～学び・考え・行動しよう  
あしなが学生募金活動  
日韓学生交流会  
おおいた夢色音楽祭2018  
赤い羽根ボールペン募金活動  
NPお母さんひろば託児ボランティア  
大分県ボランティア・NPO推進大会  
「べっぶの海岸見守り隊」海岸の清掃活動(毎月第3日曜日)  
赤い羽根ボールペン応援プロジェクト

**11月**  
子供職業体験事業:わくわくワークランド  
センターまつり&げんきフェア2018(赤い羽根募金活動)

日韓交流会  
NPお母さんひろば託児ボランティア  
たけた竹灯籠 竹楽ボランティア  
第33回国民文化祭・大分2018、第18回全国障害者芸術・文化祭  
おおいた大会『回遊劇場』巨大モザイクアート展  
サイバー防犯ボランティア(説明会)

**12月**  
津久見市人権フォーラム  
竹田市竹ホタル設置ボランティア  
大分市のまちづくり公共工事を通して「外灯デザイン」を考えよう!(大分歴史散策)  
大分県学生クリスマス献血キャンペーン2018  
クチナシの実の収穫体験  
田ノ口活性化プロジェクト

**1月**  
クチナシの実収穫体験  
田ノ口活性化プロジェクト  
大分市中央商店街活性化プロジェクト  
NPお母さん広場託児ボランティア

**2月**  
NPお母さん広場 託児ボランティア  
Iichikoグラシアタジュニアオーケストラ  
サイバー防犯ボランティア(大分県警ふれあいコンサート)

**3月**  
森林セラビートレイルラン撮影



計56種類のサービスラーニングが行われました。

## 2018年度地域活動フォーラム～感想と講評～

2019年1月8日(火)、15日(火) 会場:本学 大講義室

サービスラーニングでは活動をするだけでなく、様々な活動を行った際に、中心となった学生達による活動報告会として、毎年12月～1月頃に地域活動フォーラムを開催しています。今年も高校生、一般の方など多くの方にご来場いただきました。

### 一般 N・K さん

商工会議所や、社協、他大学、地域の方と共同して様々な活動が行われていることを初めて知りました。  
芸短の学生の方のおかげで地域の催しが無事に楽しく開催されているのだと感じました。本当にありがたいことだと感じました。  
これからもこのような活動を通じて、地域活性化を図ってほしいと思います。

### 一般

学生さんの他人事ではないと感じたという言葉が残りました。課題に取り組むと考えると難しく感じますが、自分たちの持てる能力、知恵を使いチャレンジを続けている「赤い羽根応援プロジェクト」は完成度が高いと思います。プロジェクトのその先が見えるようになると本当の福祉への参加が感じられるのではないかと思います。

### 大分県立別府翔青高等学校 M・W さん

サービスラーニングという授業がどういうものなのか、ちゃんと知れて良かったです。どの活動もみんな楽しそうで、自信を持って発表していて、すごいと思いました。来年、自分がすると考えると、とてもワクワクして楽しそうと思いました。この活動は学生が動くことによって地域が動ききっかけに繋がりが、そして、学生への自信や経験に繋がりととても素晴らしいものだと感じました。

### 大分県立別府翔青高等学校 S・N さん

今回、初めて地域活動フォーラムに参加させて頂いて、少し学校生活について知るきっかけとなったのではないかと思います。募金の活動や地元の活性化をネットで知った時よりも興味を惹かれました。自分の活動が直接地域に活かされたということを知ることができ、自分が入学したときも積極的に参加したいと思いました。

◆発表者紹介◆ 赤い羽根ボールペン応援プロジェクト・笛木美玲奈・岡本恵/竹楽、竹ホタル情報発信・渡邊かりん・岡寄楓/大分活性化ネット・廣田七海・梶谷ゆい/清正公鶴崎23夜祭・牧野ひな莉・姫野夏穂/ふくしまっ子～応援プロジェクト～・安倍七彩・武村晏由・西ひより/おおいた子ども劇場「子どもキャンプ」・島崎桃花・本田里奈・工藤雅治・三浦卓悟・大塚米寧/大分トリニータ応援プロジェクト・西美登・安倍琴未・飯田まどか・稲垣悠花・上野秀太・宇都宮凌・廣次保菜美・藤原唯衣・向野未悠/日韓次世代交流・山下千生・田村萌々香/モザイクアートプロジェクト・本田里奈・宮本真帆・渡邊麻由奈/府内学生エコフェスタ・池田皓樹/竹田食育ツーリズム研修・阪口昌哉/津久見市人権フォーラム・清水礼依

### 最新情報 check!!

Facebook「環境活動芸文短大サービスラーニング」  
<https://www.facebook.com/kankyokatudougeibuntandai>

Twitter「たけたみつた」  
<http://cis.oita-pjc.ac.jp/taketa/>

YouTube「芸短TV」  
<https://www.youtube.com/channel/UCWglqEUs7J2zc7uuZyiG7A>

Facebook「たけたみつた(たけた芸文短大交流)」  
<https://www.facebook.com/geitanakaihane/>

Facebook「赤い羽根ボールペン応援プロジェクト」  
<https://www.facebook.com/taketaigeibuntandaikouryuu/>

# Voice



大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞  
〒870-0083 大分市上野丘東1番11号 大分県立芸文短大  
tel.097-545-4744 (地域活動室)  
□ <https://www.oitapc-cis.com/> □ [geitan.sl1@oita-pjc.ac.jp](mailto:geitan.sl1@oita-pjc.ac.jp) (地域活動室)